

資料1

第1号議案

2020年度 活動報告

会員数(2021年3月31日現在)

個人会員 186名(昨年比 3名増)、法人会員 2法人(昨年比 2法人減)

2020年

オンラインによるチェコ語講座 初級、中級を通年開催

会場: 日本チェコ友好協会事務所 講師: アダム・ロット先生、アネタ・ロドヴァ先生

会報 Ma Vlast 発行

2004年4月に第1号を発行、本年度は108号から115号まで8回発行しました。

理事会開催 オンラインにより13回開催

6月19日(金) 第16回通常総会

コロナ禍のため会報110号により開催

6月中旬 韮崎のサクランボの特別販売

10月下旬 チェコビール「ピルスナー・ウルケル」と「コジェル黒ビール」の特別販売

10月29日(木) 日本チェコ交流100周年記念オンライン講演会Ⅰ — カレル・チャペック「ロボット」の過去と現在

東京大学の阿部賢一先生に、100年前に出版され、「ロボット」という言葉が初めて使われたカレル・チャペックの戯曲「R.U.R.」(邦題「ロボット」)について、同作品がどのように読まれてきたかを振り返りつつ、AI技術の進展が目覚ましい現代において同書の意義はどのようなものかについてお話して頂きました。

11月26日(木) 日本チェコ交流100周年記念オンライン講演会Ⅱ — カレル・チャペックは戯曲「白い病氣」で何を語りたかったのでしょうか?

医師でカレル・チャペックの翻訳家である栗栖茜先生に1937年出版の戯曲「白い病氣」について当時の欧州情勢とその中でチャペックがこの作品により何を語りたかったのかについてお話して頂きました。

12月20日(日) ヤクブ・ヤン・リバのクリスマスミサコンサート共催

コロナ禍の中で何とか継続したいという出演者の皆さんの熱意が実り、下北沢のカトリック

ク世田谷教会において、「芸術家の家」との共催により実施。演奏者及び聴衆とも規模は縮小されたもののプロの演奏家による室内楽形式での素晴らしいコンサートとなりました。

2021 年

2 月 6 日(土) ホルプ先生によるオンライン講演会——英国の EU 離脱後の欧州情勢と米欧関係

2020年の暮れに成立した英 EU 自由貿易協定を中心に英国の EU 離脱後の情勢とバイデン新米大統領の下での米欧関係の見通しについてお話をいただきました。